

PROGRESS ~前進~

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒



67期生の皆さん
卒業おめでとう

卒業式に向けての確認事項



【卒業生の皆さんへ】

- ① 学校の中で、一年で最も大事な行事であり、また皆さんにとって最後の「授業」となるという意識のもと、失敗は許されないという「凛とした雰囲気」で挑んでください。これまでやってきたことの「集大成」としてとらえ、**何物にも代えがたい感動を共有できるようにしましょう。**
- ② 「最後の日」にまで、皆さんに注意・指導することは、先生たちにとって本意ではありません。服装・頭髪・集合時刻厳守等、今まで積み重ねてきたであろう「**基本的生活習慣**」をキチンと表現してください。**「個」として目立つのではなく、「67期生」として輝く一日にしましょう。**

【在校生の皆さんへ】

- ① 卒業式当日は、**一切登校することができません。**
※片付け担当・午後から活動のクラブ生を除く。この場合も、集合時間等の指示を確認すること。
- ② きょうだい関係で式に参列する場合は、制服着用です。また、保護者の方と一緒に参列すること。
※生徒のみでの参列はできません。

.....
以下は、昨年のこのタイミングにも掲載しましたが、「65期生 2年時の学年通信」を一部改変した文章です。

あの日、堺市内の中学校では、卒業式が行われていました。先生(桐山)は、以前勤務していた学校で、生徒指導の先生としてかかわることが多かった「とても元気な学年」を送り出しました。先生方みんなで、「3年間でよく成長したなあ。いい卒業式やった！」とホッと一息ついている午後2時46分、あの地震が起こったのでした。

最初、多くの先生は「疲れてめまいがしているのかな？」と思ったそうです(大阪でも、揺れを感じました)。ところが、テレビをつけると、今まで見たことのないような映像が流れてきます。やはり、津波の映像はショックでした。自然災害に対して、人間はなんて無力なのかと、強く感じました。それから数日間は、どんどん拡大する被害と、現地の大変厳しい状況がテレビ等で伝えられ続けました。

先生(桐山)は、東日本大震災のような災害に遭ったことはありませんので、いざ、そう言う場面に遭遇した時にどうなるかは想像できません。でも、「家で【もしかの時】のことについての話をしておくことや、【もしかの時】のことを、少しでも考えることが大事」だと思います。

1月には、能登半島での大地震が発生しました。ここ最近では、千葉県付近を中心に、日本のあちこちで大きめの地震が発生しています。大阪も、いつ何時どうなるかわかりません。準備しておいて、損はなさそうです。

皆さんにも、ぜひこの節目に思いを寄せてもらいたいと思います。

あさってに卒業を迎える67期生の皆さん。
東中で過ごす残りの時間・・・色々なことに思いを巡らせながら、次のステージへの期待を胸に、キチンと過ごし切ってもらいたいと思います。**「基本的生活習慣を崩さない」**ことが肝心です。

「卒業」と言えども、たかが中学校。まだまだしっかり生きていけないといけません。立派な「一社会人」になってくれることを、心から祈っています。

昨日3月11日は、東日本大震災が発生した日でした。「あの日」から13年の月日が流れました。

調べてみると、

①1年生では、まだ12人の人は「あの日」にはまだ生まれていなかった…。

②全校生徒のうち、3月11日が誕生日の人は4人いて、「あの日」に生まれた人も1人いるようです…。

今なお、東北の被災地は復興半ばです、また、石川県を中心とした能登半島地震の被災地では、未だに極めて不自由な生活を強いられ、卒業式どころではない地域や、中学生がいるかもしれません。

コロナ禍でも思いましたが、

「当たり前が幸せと知った」

と感ずることが出来る日々、そして3年生は卒業式にしてください。

『忘れてはいけない日』
～【3.11】 13年が経ちます～